

モニタリング結果報告書

施設 21世紀の森
指定管理者 株式会社足柄グリーンサービス
施設所管課 森林再生課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

施設の魅力向上のため、提案どおりに取組みを実施し、広報活動などにも積極的に取り組んだ。また、今期は利用者数が前年比 97.8%であること、経費の節減等により、良好な収支状況であること、利用者満足度調査結果や事故の対応状況も問題ないことから B 判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	11月14日	○	×	○	なし	
11月	12月9日	12月14日	○	×	○	なし	
12月	1月10日	1月17日	○	○	○	なし	
1月	2月10日	2月16日	○	×	○	なし	
2月	3月9日	3月13日	○	○	○	なし	
3月	3月31日	4月2日	○	×	○	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

施設の設置目的を達成・普及振興させるため、親子・子ども向け体験教室等を行う自主事業を実施し、利用増を図る。

<実施状況>

10月	自然観察会（秋の色を探してみよう）	参加者数	18名
11月	木工体験教室（マイはしと柿渋染めのはし袋作り）		51名
12月	木工体験教室（クリスマスオーナメント作り）		27名
	森林文化体験（杉玉づくり）		32名
	自然体験ツアー（森で遊ぼう）		7名
1月	木工体験教室（無垢板のテーブル作り）①		10名
	木工体験教室（無垢板のテーブル作り）②		12名
2月	木工体験教室（無垢板のテーブル作り）③		11名
	野鳥観察会（冬の野鳥観察）		36名
3月	木工体験教室（無垢板のテーブル作り）④		21名
	森林文化体験（森のお茶会）		22名

計 247名

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	28,470 (29,930)	28,470 (29,930)	0 (0)	0 (0)	28,470 (29,930)	0 (0)
下半期 予算額	14,688	14,688	0	0	14,688	0
10月	2,493	2,493	0	0	2,042	451
11月	2,232	2,232	0	0	3,044	△812
12月	3,951	3,951	0	0	2,824	1,127
1月	1,923	1,923	0	0	1,714	209
2月	1,865	1,865	0	0	2,423	△558
3月	2,224	2,224	0	0	2,277	△53
今年度 半期計	14,688	14,688	0	0	14,327	361
前年度 同期計	14,416	14,416	0	0	14,678	△262

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比 30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

5万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いします。

	金額	工事箇所・内容
上半期	146 千円	加圧給水ポンプ修理（146 千円）
下半期	5,636 千円	公衆トイレ装置改修工事（3,769 千円） 森林ふれあいセンター改修工事（1,775 千円）
総額	5,782 千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	3,919人	4,384人	△10.6%
11月	2,807人	3,705人	△24.2%
12月	1,835人	1,999人	△8.2%
1月	1,805人	1,498人	20.5%
2月	2,103人	1,658人	26.8%
3月	1,696人	1,239人	36.9%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	32,982人	31,034人	32,021人	△5.9%	△3.1%
今年度下半期計	14,918人	14,165人	14,483人	△5.0%	△2.2%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください)。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

- ① 該当なし
- ② 目標は昨年度より3%程度の増を見込んでいたが、10、11月の週末に雨天が多かった影響により目標を下回ったと思われる。

6 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分) 該当なし

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	()	()	()	()	()	()

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載してください。

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

（ 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。 ）

該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

（ 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。 ）

指定管理者	<ul style="list-style-type: none">○ 情報誌、ホームページ等各種広報媒体の利用、「神奈川チェーンソーアート競技大会」への出展等により、施設の積極的なPRに努めた。○ イベント「マイはしと柿渋染めのはし袋作り」、「無垢板のテーブル作り」、「杉玉づくり」は参加者から好評を得た。○ 今後は、「21世紀の森」らしさをさらに強調できるイベントを企画したいと考えている。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none">○ 10、11月は週末の雨天等の影響により、来園者数が前年同月に比較し減となったものの、魅力的なイベントの開催、団体の誘致等、積極的に来園者の獲得に努めた結果、1、2、3月の来園者数が前年度と比較して大きく増加し、上半期の来園者数は前年比97.8%に留まった。○ 今後も、魅力的なイベントの開催、学校や企業などの団体に対する積極的なPR活動を継続していただきたい。